

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 ユーズキャリア

②事業者情報

名称：	さいたま市立植水放課後児童クラブ	種別：	放課後児童クラブ
代表者氏名：	佐藤 美子	定員(利用人数)：	30 名
所在地：	〒331-0057 埼玉県さいたま市西区大字中野林174-1	TEL	048 (625) 1908

③評価実施期間

令和 7年 6月 7日（契約日）～令和 7年 10月 22日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

① 地域や他施設との多様な交流

放課後児童クラブの館内には、児童センター、シニア憩いの家、地区社会福祉協議会が併設されています。放課後児童クラブの子どもたちは、乳幼児の親子と触れ合ったり、同世代の子どもと一緒に遊んだり、囲碁や手話ダンスを高齢者から教わるなど、乳幼児からシニアまで多世代間交流を日常的に行っています。

また、中高校生が月2回学習支援を行ったり、中学生のボランティア体験を積極的に受け入れるなど、中高生との関わりも持っています。

さらに、大規模法人の事業所である特性を活かし、同法人の施設で開催されるイベントに参加し、児童センター、シニア憩いの家の高齢者と一緒に和太鼓の演奏に合わせてソーラン節を踊るなどの取組を行っています。加えて、自治会の勧めにより、さいたま市西区民まつりにも参加し、地域の中で楽しみながら活躍する機会を得ています。

これらの取組は、子どもたちが様々な人と関わりながら多様な経験を積むことにつながっており、貴重な体験の機会となっています。

② 生命の安全教育の取組

コロナ禍における様々な困難や制限の中で、職員は協議・検討を重ねながら、次のような視点を子どもたちに働きかけてきました。

「自分の身は自分で守る」「正しく恐れる」「のしかかった困難でも自分で乗り越えられる」

「排除せずにやさしい声かけを行う」これらを意識した支援を日常的に行っています。

また、これらの内容をイラスト化して壁に掲示し、折に触れて伝えるなど、具体的な取組を継続的に実践しています。

③ 主体的に基本的生活習慣を身につけるための見える化

子どもたちが自ら判断して持ち物の補充や衣類の整理ができるように、透明な袋に靴下やハンカチを入れた個人セットを作成し、室内に設置しています。この見える化により、子どもが自分で確認し、何を忘れたか、何が足りないかを把握できるようになり、忘れ物の軽減につながっています。

児童クラブ室には、子どもたちと一緒に考えた「ぼかぼか言葉」と「ひえひえ言葉」を掲示しています。これらは子どもが座って活動する際の目線の高さに掲示されており、日常的に子どもの気づきを促す工夫となっています。

◇特にコメントを要する点

① さらなる安心に向けた環境づくり
 現存の二階建ての建物や多機能型のメリットを活かし、放課後児童クラブのこどもの安心・安全に向けた環境整備に取り組んでいます。
 しかし一方で、職員はエリア内における静養スペースや集中できる環境が十分に整えられていないと考えており、今後はできる範囲での工夫が期待されます。

② 不審者対策
 保護者アンケートでは、不審者対策の強化を望む声の一部寄せられました。子どもに対しては、自分を守る行動を掲示や日常的な関わりを通して伝えていますが、地域の交流拠点であることから、多数の人の出入りがある状況です。今後、可能な対応策の検討が望まれます。

③ 敷地内の整備
 職員が外庭の手入れや整備を行い、清潔な環境を保っています。敷地が広いという特性を活かし、地域交流の一環として協力を得るなどの工夫も、今後検討の余地があります。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

このたびの福祉サービス第三者評価受審に際し、自己評価を作成し、アンケート調査および訪問調査の過程を経て、自組織の課題発見と問題意識の共有を図ることができました。特に評価調査票の作成の段階で職員個々の意見が異なる項目がいくつかあり、更にアンケート結果からは、保護者と職員の認識の乖離がみえる項目もありました。
 施設の防犯対策、環境整備の工夫、室内運動遊びの充実、静養スペースの確保等の項目については、職員間で十分な意見交換を行い、保護者の意見も取り入れながら改善を図ってまいります。これからもより良い施設運営とサービスの質の向上に努めていきたいと思っております。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり